

生里百々手祭



生里百々手祭(県指定無形民俗文化財) 厄払いと大漁豊作、平安無事を祈願
(三宝荒神宮)

1000年を越える歴史のある祭(小笠原古流)

藤原時代 延喜年間(901~923年)の発祥といわれ、古式そのままの伝統により社前での
弓射儀礼が行なわれている

平成24年2月25日(土)膳の日

15:00過ぎ~ 射手は仁老浜海岸において潮垢離(身を清めるために海水を浴びること)を取る

平成24年2月26日(日)祭典日(毎年旧暦2月1日に近い日曜日)

3:00頃~ 本頭起床潮垢離をし、三宝荒神宮へ宮参り その後、射手は海岸にて潮垢離

8:00頃~ 射手 三宝荒神宮集合 上矢、下矢に別れて神の矢千筋を射る

その後 頭屋はホラ貝にて氏子達に案内する

10:00頃~ 42才の厄払い、33才の厄払い

12:00頃~ 昼の御膳

ひきつづき 61才の厄払い、88才の厄払い、本家・納屋などの新築および新造船の柿^{こけら}払
頭屋三度弓(大的破り)

今年の頭屋と来年の頭屋による御神酒を交わして引渡式

祭典終了

百々手祭: 粟島3月4日(日) 毎年3月の第1日曜日(粟島神社)

大浜3月11日(日) 毎年3月11日~17日の間の日曜日(船越八幡宮・大浜海岸)

お問い合わせ 三豊市観光協会 0875-56-9121